



第69号  
3月定例会  
平成27年4月20日

こんにちは

# 豊丘村議会 です

## 3月定例会 40億5,200万円の当初予算可決

- |                   |          |
|-------------------|----------|
| 全9地区へ交付金制度を創設     | 5ページ     |
| 復活、住宅リフォーム助成金     | 6ページ     |
| 一般質問 11人の議員が村政を問う | 9ページ     |
| 4年間お世話になりました      | 25・26ページ |

初めての教室(北小学校入学式)

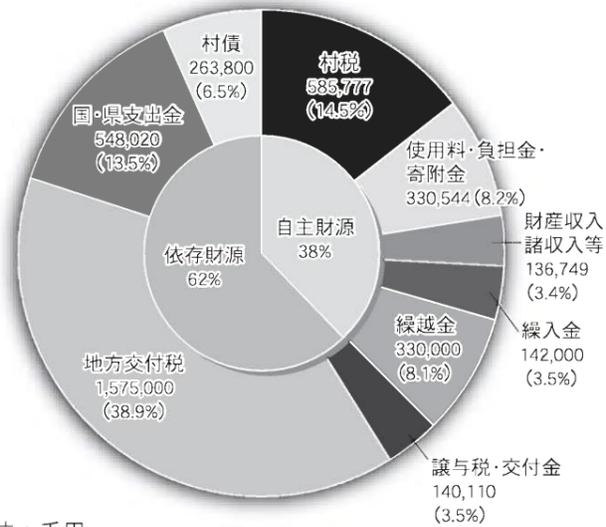
発行／長野県豊丘村議会  
編集／議会だより編集委員会  
印刷／龍共印刷

〒399-3295 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲3120番地  
TEL.0265-35-9063 FAX.0265-35-8355  
Eメールアドレス gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp

豊丘村議会

検索

歳入総額 40億5,200万円



単位：千円

**歳入**

**基金(貯金)取り崩しが大幅に減少**

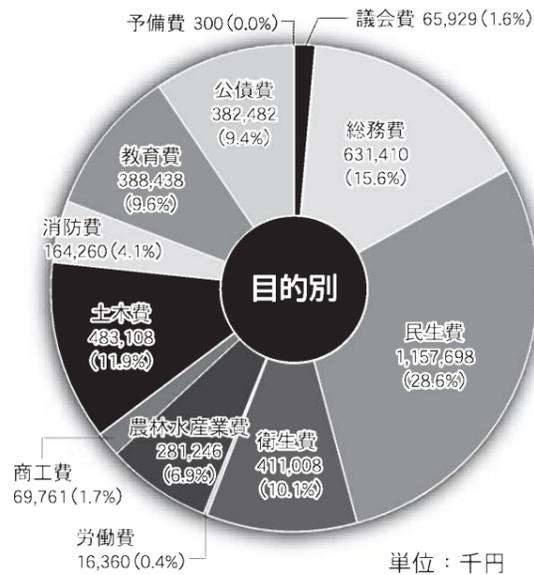
村税は、前年比約600万円、1%増の5億8,600万円、歳入の38.9%を占める地方交付税はほぼ前年並みの15億7,500万円を見こんでいます。国からの支出金は、大型ハード事業の減少により17%減の3億3,383万円、逆に県支出金は、農業関連事業への補助や雇用創出事業への補助金が増える中で前年比37%増となっています。

借金となる村債は、前年より10%余増えています。内43%の1億1,400万円は今後利子も含めて全額が地方交付税で交付される臨時財政対策債です。

基金(貯金)からの繰入れは、大型事業が終了したことから前年度より大幅に減少し、公債費(借金返済)の財源とするための1億4,200万円のみです。

**一般会計予算の内訳**

歳出総額 40億5,200万円



単位：千円

**歳出**

**建設事業費が半減となる**

目的別歳出(行政分野別)はグラフの通りですが、性質別にみるとハード事業といわれる普通建設事業費が対前年47%減と半額して7億8,733万円となりました。

**用語解説**

目的別歳出とは、行政分野別に歳出を分けており、議会費、民生費、土木費、教育費等に分類される。

一方、性質別歳出は、経済的性質を基準として、人件費、物件費、扶助費、補助費、普通建設事業費等に分類される。

# 27年第1回定例会

## 復活、住宅リフォーム助成金

### 全9地区へ交付金制度を創設

**27年度当初予算**

一般会計他各特別会計の予算規模は別表のとおりですが、一般会計の予算総額が前年より3億5千万円減少したのは、大型ハード事業の多くが完了したことによるものです。

27年度の大型ハード事業は、北保育園増築事業や、小中学校の改修工事、佐原線改良工事等3億4千万円であり、その他の予算規模では26年度より3億5千万円程増加しています。

議員の今任期最後となる平成27年第1回定例会は、3月2日から19日までの18日間の会期で開催されました。

開会日に、条例案10件、予算案11件、人事案2件、一般案件3件、及び請願5件が提出され、条例案は7件を即決、3件を委員会付託、予算案は全て委員会付託、人事案と一般案件は全て即決、請願は1件を即決し4件を委員会付託としました。

又、会期中の10日に一般会計補正予算が追加提案され委員会付託となりました。

さらに、19日にも補正予算案3件、発議3件、その他5件が上程されました。

今定例会で成立した案件は、補正予算9件、27年度各会計の当初予算6件、条例制改定10件、発議及び決議5件、その他8件でした。

又、請願は3件が採択、2件が趣旨採択でした。

一般質問では、11人の議員が村政全般の課題について質問しました。

**27年度各会計の予算は**

(単位：千円)

会計の区分	予算額	前年度予算額	対前年度増減額	対前年度増減率	
一般会計	4,052,000	4,402,000	▲ 350,000	▲ 8.0%	
特別会計	国民健康保険	663,149	564,910	98,239	17.4%
	後期高齢者医療	68,980	69,131	▲151	▲0.2%
	介護保険	793,368	792,420	948	0.1%
	簡易水道	146,000	154,000	▲ 8,000	▲15.2%
	下水道事業	312,000	327,000	▲ 15,000	▲14.6%
小計	1,983,497	1,907,461	76,036	4.0%	
合計	6,035,497	6,309,461	▲ 273,964	▲ 4.3%	

# 27年度の 主要な事業は

## 北保育園未満児棟を増築します

近年、未満児の入所が増加しており、特に北保育園でその傾向が大きくなっています。そこで、村では26年度において園庭にプレハブ園舎を設置して急場をしのいできましたが、用地確保の見通し

がつく中で新たに現在の園舎南側に未満児棟を増設することとしました。

建築床面積は177㎡、10月ごろの完成を目指しています。

## ◎神稲児童クラブを増築します

5年前に新築した神稲児童クラブは、利用児童が増加する中で手狭になってきました。

そこで、現施設の南側へ132㎡のプレイルームを増築することとしました。完成は来年1月ごろの予定です。

## 学校体育館の天井板落下防止工事を行い安全機能を強めます

6360万円

北小学校と中学校の体育館は吊り天井となっていますが、地震時の落下を防ぐため天

井板を撤去して安全機能を高め、災害時の避難所としての役割も果たせるようにします。

## ◎子育て支援を充実します

・支援センター運営 259万円  
・臨床心理士を常駐 372万円

26年度に開設した子育て支援センター「げんきっこ」は好評で利用が増えています。27年度は、更なる充実を図るため臨床心理士が常駐し相談機能を強化します。

## ◎公園の新設と改修を行います

5300万円

福島区の千駄木地籍へ新しく公園を造ります。この場所は、松川町から飯田市一帯が眺望できる「てっぺん公園」の名のとおりすばらしい景観の地です。又、河野りんごっこ公園のトイレを全面的に改修します。

## ◎6次産業化へのとりくみをすすめます

2022万円

地域の農産物を加工販売することにより持続可能な地域づくりを目指す6次産業化プロジェクト事業を促進します。又、直売所やレストランを併設する村の駅とよおか(仮称)構想の検討を進めます。

## ◎村道の改良事業を行います

2億6千5百万円

左原線は現在の改良個所より東側へ改良を行います。その他河野新田横断線(筏地区)等22路線の整備を行います。

## ◎下水道浄化センターの長寿命化の検討にとりくみます

1900万円

林里の公共下水道浄化センターの耐震補強と長寿命化工事は28年度で計画しています。27年度でその設計業務を実施します。



眺望がすばらしい福島のとっぺん公園

以下の事業は26年度補正予算で決定されたものですが、実際は27年度で実施されることとなります。これは、国の補正予算「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」によって、当村で27年度当初予算で計上していた事業を26年度補正予算で対処したものです。

## ◎住宅等リフォーム助成金事業が復活します

2020万円

23年度より3年間実施してきたこの事業は商工会をはじめ村内からの復活の声が多くありと共に議会からも強い要望もあり、新たな内容に見直し復活するものです。

5万円以上の事業に対し、上限15万円で20%の助成をします。

前回は利用された方も再度の利用が可能です。なお、この事業は27年度から29年度の3年間実施されます。

## ◎プレミアム商品券を発行します

1400万円

消費喚起を目的として、購入価格を上まわる買物ができる商品券を発行します。

プレミアムは20%を予定しています。発行額は6000万円で7200万円の消費が期待されます。このプレミアム分1200万円と事務費200万円の予算です。

## ◎灯油購入に助成を行います

170万円

低所得者(住民税非課税世帯)を対象として、5000円の商品券を交付します。

## 採択された請願は

- 村営バス無料化を求める請願 (21P参照) <越旨採択>
- 村営バス見直しを求める請願 (21P参照) <越旨採択>
- 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願 (22P参照) <採択>
- 子ども・障がい者等の医療費窓口無料化実現を求める請願 (22P参照) <採択>
- 集団的自衛権容認の閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願 (21P参照) <採択>

国会と政府 及び 長野県に「意見書」を送付しました。



買物は村内で

## 議員の意志表示一覧表 (全員賛成除く) <平成27年 3月 第1回 定例会> ○…賛成 ▼…反対

件名	審議結果	唐澤啓六	前沢光昭	片桐秀人	川野孝子	片桐眞理子	松村正三	原健治	片桐義憲	大原千賀子	井原康明	松下亨	吉川明博	酒井浩文
条例 豊丘村介護保険条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算 平成27年度 豊丘村介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 集団的自衛権容認の閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書 集団的自衛権容認の閣議決定にもとづく法整備等を行わないことを求める意見書の提出	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 27年度当初予 新設された区への

片桐(秀)議員 新規事業であるふるさとづくり交付金は区にたいするものだがありがたい制度。使途制限や交付条件はあるか。

村長 各区及びはやし区の委員会に交付する。金額は、均等割りか30万円、世帯割りが1世帯当たり千円に世帯数を乗じたもので、この合計額が交付される。唐澤議員 実績報告書を提出することになっているがどんな内容のものか。

ふるさとと寄付金 お礼品の反応は 片桐(秀)議員 ふるさとと納税額が3億7千万円余になってありがたいこと。これの使途はどうなっているか。村長 各区への交付金

ふるさとと大使、新しい2人はだれか 片桐(真)議員 ふるさと大使は、現在丸山克俊先生をお願いしているが、新年度は新たに2名追加すること。どなたに依頼するのか。唐澤議員 原案としては、若手歌手として活躍中の松尾レミさんと、片桐白登先生の孫に当る「うるまでるび」さんを考えている。

ふるさとと大使、新しい2人はだれか 原案では松尾レミさん、うるまでるびさん 住宅も縮小されており、

# 算の質疑から 交付金制度、内容は

ふるさとづくり交付金、内容は 均等割30万円プラス1世帯千円 村長 従来のものを出してあげればよいことになっていく。

ふるさとと寄付金 お礼品の反応は 片桐(秀)議員 マイクロバス購入費として1200万円計上してあるが、使用目的などの説明を。唐澤議員 29人乗りを1台購入して路線バス用として使う。現在5台を保有しているが、1台は平成2年製で古くなったので、路線バスでなく公民館バスとして使う予定。

ふるさとと寄付金 お礼品の反応は 唐澤議員 全国では寄付を得たいために豪華な返礼品を送るところもあるが、これに対する国の指導はあるか。唐澤議員 「趣旨を問

ふるさとと寄付金 お礼品の反応は 唐澤議員 「趣旨を問



ふるさと大使で活躍中の丸山先生(小早川元プロ選手と)

であったか。総務課長 果物は定期的に傷んだものもあった。希望品が間に合わなくてこれから発送するものも多い。クレームも数件あった。個人選果もあったが今後は農協など共同選果品を送りたい。唐澤議員 全国では寄付を得たいために豪華な返礼品を送るところもあるが、これに対する国の指導はあるか。唐澤議員 「趣旨を問

新緊急通報装置は有効活用できるか 24時間対応でき安心につながる 原議員 独居世帯への緊急通報装置を新しいものに変えるというが、お年寄りが急病になった時に有効に使えるものか。健康福祉課長 従来の装置は14年前に取り入れ、現在は30世帯に配備している。これまでの使用実績はない。新しい機器は緊急時にボタンを押せば管理センターに通報され、ガードマンが自宅に駆けつける。24時間体制で対応するので迅速に対応できる。装置は75歳以上の独居世帯などに配備する。



リフォーム助成金で改修された土蔵

リフォーム助成金の対象期限外せないか 3年間実施するが、その後は何とも言えない 唐澤議員 住宅等のリフォーム助成金が復活した事は評価する。ただし、実施期間が27年度から3年間に限定しているが、これはなくしたほうがよい。

産業建設課長 前回の事業は1年限定を結果的に3年間実施した。今回は3年間行うが、その先のことは何ともいえない。松下議員 助成は商品

また相手側との日程が合わなかったりするため、今年から1回にしか。

券となっているが、前回は使えなかったホームセンターや農協の農機具センターは使えるか。産業建設課長 コメリやグリーンベース、オートバル農機具センターでも使えるようにする。

ゆめあるて大ホール、舞台が低い 20号ほど高いとよとの声ある、今後の課題 唐澤議員 大ホール舞台が低い使用勝手が悪い。利用者の声はどうか。建設委員の一員であったが細部の構造までは詰めなかった。教委事務局長 もう20cm位高いとよいという意見は聞いている。今後の課題として。井原議員 ゆめあるて

駅前北側の資料館付近が、夜は照明がないため暗い。車止め用構造物で転ぶ危険がある。年配者も利用するので、安全確保から対策を願いたい。(要望) 井原議員 ゆめあるて駅前北側の資料館付近が、夜は照明がないため暗い。車止め用構造物で転ぶ危険がある。年配者も利用するので、安全確保から対策を願いたい。(要望) 酒井議員 中学校と小体育館の天井を撤去するというのが理由は。また、中学校の職員駐車場を拡張するというが、どのようにするのか。また、村民体育館の遮光カーテンは修理するか。教委事務局長 体育館の天井は落下防止のため撤去する。鉄骨がむき出しとなる。中学校駐車場は南側を校庭入口まで拡張し一方通行にする。村民体育館の遮光カーテン修繕は、次年度以降の予定。

# 議会活性化を決議

政務調査費の不正使用等で住民の批判が高まっている地方議員が、憲法と地方自治法の趣旨にのっとり、議会に課せられている重要な役割を果たし、住民からの信頼をとり戻すことは緊急の課題となっています。

二元代表制の一翼を担う地方議員は執行機関との緊急関係を保ちつつ、お互いに切磋琢磨し、より良い政策の提言とその実現をめざすことにより、地域づくりに貢献する新しい議会像を創出することが肝要です。

こうした見地から、豊丘村議会では今任期の最重要な課題として、議会改革の検討研究を重ねてきました。



議会は言論の府、活発な議論の展開を

このとりくみの中で、議会とむらづくりを語る会の開催、議会基本条例の制定、会議規則の見直し等を実施しましたが、改革すべき課題はまだ多くあることから、今後（次期議会）のとりくみについて申し送るといふ観点から、今定例会最終日に「豊丘村議会活性化に関する決議」を全会一致で議決しました。

## 豊丘村議会活性化に関する決議

豊丘村議会では、議会が取り組む諸課題への役割と責任の重大さを自覚する中で、平成24年3月に議会改革検討委員会を立ち上げ議会改革に取り組んできた。この3年間は、住民参加と議会の説明責任を果たす議会報告会「議会とむらづくりを語る会」を村内9会場で実施した。そして、今日までつくりあげてきた議会運営のルールを後戻りさせない意志を示すため、議会改革最大の目標であった議会の憲法「議会基本条例」を制定することができた。これに伴う条例、規則等の改正及び議会運営の改革に積極的に取り組み、また議員定数、報酬、通年議会の研究研修も重ねてきた。しかし、これまでの改革は途半ばであり、今後更なる改革のために以下の事項を次期においても研究、検討されるよう決議する。

記

- 1 議会基本条例を制定したが、目的はその実践である。議員構成が変わっても、この条例を議会活動、議会運営に活かして村づくりに取り組まれない。
- 2 議会報告会「議会とむらづくりを語る会」は引き続き開催すると共に、開催時期、開催方法など多くの住民が参加できる方法を検討されたい。
- 3 村民の議会への参加及び情報公開を目的に、議会報の更なる充実及び議会モニターの設置等、村民の意向が村政並びに議会活動に充分反映できるよう取り組みを強化されたい。
- 4 通年議会については、今後も引き続き研究検討されたい。

平成27年 3月19日  
長野県下伊那郡豊丘村議会

## 27年度当初予算の質疑から 介護保険料（県下2番目の高額となるが、理由は）

### 介護保険料 大幅引上げの理由は

Ⅱ 小規模特養の新設などでⅡ

松下議員 1号被保険者の基準階層の保険料が14.4%引上げで月額5950円になった。長野県で2番目に高くなったが、その原因はどこにあるか。

健康福祉課長 第1に小規模特養が本格利用できるようになったこと。第2に制度改正により1号被保険者の負担割合が被保険者の増加によって1%引き上げられ22%となったこと。第3に介護度3以上の重症率が少し減少したものの、以前として高水準にあることによる。

唐澤議員 各市町村の施設整備によって介護費用は違うし、制度矛盾もある。阿南町では当初は月7200円になるのを、一般会計から1050万円繰り出

し月6300円に抑えている。下條村でも一般会計から1800万円繰り入れている。当村でも一般会計から繰り入は考えないか。

村長 小規模特養ができて受け入れやすい体制となった。一般会計

### 地域ミニデイは突然の社協移管 何故か

Ⅱ 事前説明を怠りお詫びするⅡ

片桐(秀)議員 地域ミニデイサービスの社会福祉協議会への移管の話は予算書を見て初めて知った。ミニデイには5人の議員がそれぞれの地域で関わっている。いずれ社協移管は必要だがまだ早い。職員人事も絡み経過が不明瞭だ。

大原議員 これまではミニデイ担当者に頼ってきたがこれからは包

からの繰入は、今後の様子を見て考えたい。川野議員 高齢者訪問は、年1回は全員を回るということだが現状はどうか。

課長補佐 対象者は214世帯、延べ261人訪問した。訪問率は66%となる。訪問の前電話では「元気でいるので」とお断りの方もいる。

括支援センター・社協・はつらつなどの組織が関わる。うまく機能するか心配だ。

健康福祉課長 混乱を招きお詫びする。(経過説明中略) 新年度からはこのミニデイサービスは社協に移管するが、これまでの担当職員が社協に移り引き続き担当する。

なお、はつらつ担当職員も一緒に加わるの



和やかな談笑風景（はやしの杜）

で2次予防体制も強化されると考える。今後は、包括支援センターと社協がこれまで以上に連携を強化して、介護予防事業の成果が出るよう努力する。

村長 以前から言っている「ほう・れん・そ」ができてなかった。反省している。責任は私にある。

唐澤議員 庁内で連携がとれてなかった点も

ある。新年度は日常生活総合支援事業の計画を策定する年。このため包括支援センターと社協がより一層連携を深めてよい計画を立てるのが重要。今回のミニデイ移管の話は手続上はまずかったが、担当職員も変わらない。現場のサービスは社協でやるのがよいのではないか。

# 豊丘村存続の危機をどう思うか

答 これからの対策が非常に大事

川野孝子議員



質問 日本創成会議の提言によると、人口の流出が現在のペースで続くと、2040年には全国で896の自治体が存続の危機にあり、豊丘村がこの中に入っているということについてどう思うか。

村長 リニア新幹線がここにくる事によってプラスの方向にいく。いかに雇用を増やし、若い人たちに地方で暮らし、子育てをしてもらうモデル地区になると思う。豊丘村が消滅してしまうとは思っていない。

質問 若い人たちの豊丘村への定住策として村は戸建賃貸住宅の建設や、宅地分譲の取り組みをしているが、もう少し安価で入れる村官営マンション等の必要性についての考えは。

村長 これからは宅地造成に少しシフトしていきたい。村官営マンション等については考

えていない。今後の情勢の変化については考えていきたい。

質問 人口が減れば労働力不足、生産力低下により税収の確保も困難になってくる。村民から頂く税金を大切に使うていく為にも、職員に民間の企業に研修派遣をしたらどうか。

副村長 職員は危機意識を持っていてと考えている。若い職員を中心に外部研修派遣について準備が整えば機会を与えてやりたい。

質問 いつでも帰れるふるさと豊丘村について、子どもたちの思いを教育現場でどのように取り組んでいるか。

教育長 ふるさとを大事にする教育に重点をおいてやってきた。ふるさとでの良さを知り、愛し誇りが持てる教育が大事と考える。若者が住み続ける原動力になる。

豊丘村の飲料水の現状について

答 新たな水源を探している

質問 田村第二水源の水量不足が懸念されている。以前に掘った旧林水源が使えるか。水質も含めて状況はどうなっているか。

環境課長 旧林水源について昨年12月からポンプを設置し採水を行った。今までに6回の水質を行った。水質検査の結果は硝酸性窒素の値が許容数を越える高いものがあった。

質問 旧林水源が使用出来ない場合、今後水不足をどう補っていくのか。

環境課長 新たな情報として山地地籍に個人が掘った井戸があ



水質検査中の深井戸ポンプ

1 川野 孝子 議員 (10ページ)

- ▼日本創成会議の提言について
- ▼豊丘村の飲料水の現状について

2 吉川 明博 議員 (11ページ)

- ▼豊丘村6次産業化プロジェクト(主に「村の駅とよおか 仮称」)について

3 片桐 秀人 議員 (12ページ)

- ▼第6期介護保険事業計画の実施に当たって

4 大原 千賀子 議員 (13ページ)

- ▼地域包括ケアシステムの重点的取り組みについて
- ▼資料館の活用について

5 酒井 浩文 議員 (14ページ)

- ▼地域活性化のための人材活用について

6 片桐 眞理子 議員 (15ページ)

- ▼地域おこし協力隊の促進について
- ▼子育て支援の充実について



7 前沢 光昭 議員 (16ページ)

- ▼認知症対策について
- ▼子育て支援について

8 唐澤 啓六 議員 (17ページ)

- ▼「地方消滅論」に対する村長の見解は
- ▼要介護者への「障害者控除認定書」発行の改善を

9 松村 正三 議員 (18ページ)

- ▼村における地方創生総合戦略について

10 松下 亨 議員 (19ページ)

- ▼広域行政の現状と課題などについて
- ▼議会答弁とその後の対応について

11 井原 康明 議員 (20ページ)

- ▼地方創生への考え及び取り組みについて
- ▼図書館の大屋根からの落雪対策について



# 第6期介護保険計画実施にあたって

## 答 正規雇用の社会福祉士を配置する

片桐秀人議員



**質問** 本年から3年間の第6期介護保険事業計画実施にあたっていくつかの疑問点について伺う。包括支援センターの人事配置は。村長 現在は嘱託のケアマネだが、正規の社会福祉士を雇用し充実を計画している。

**質問** ミニデイを突然社会福祉協議会に移管したのはなぜか、その理由、経過について説明を求める。

**健康福祉課長** 担当していた職員が嘱託であった



計画から事業実施へ

**答 高齢者の交通事故対策は 運転免許証の返納も**

**質問** 全国で高齢者による交通事故認知症高齢者の事故が社会問題となっているが、村は対策の必要性を感じているか。

**質問** 計画の中に高齢者の生きがいづくりと社会参加、高齢者クラブの活動支援を行うとしているが、具体的にはどう支援するのか。

**健康福祉課長** 高齢者クラブが発展しているように活動支援を行っている。



高齢者教習の様子

**村長** 安全を担保するために運転免許返納も仕方ないと思っっている。

**質問** 交通対策の視点で考えるのではなく、障害者自立支援法にある移動支援サービスの要綱を用いて対策を考えたらどうか、幸いふるさと納税の浄財を頂いている。これを基金にして施策を行う考えはないか伺う。

**村長** 何かいい方法があったらと思っっている。

**副村長** 議員の提案の趣旨は充分認識している。いろいろ研究して結論を出したい。少し時間を賜りたい。

**質問** 計画では健康推進員が介護予防、認知症について啓発の役割を担って頂くとしているが、合意が得られているか伺う。

**健康福祉課長** 生活習慣病予防がひいては介護予防につながる。将来は介護予防の学習会も取り入れて行きたい。

# 村の駅とよおか(仮称)はどうなっているか

## 答 統括支配人が決まった

吉川明博議員



**質問** 「NPOだいち」の営業支援センター業務が、不十分になっていると指摘されているがどのようにしたか。

**産業建設課長** NPO法人、非営利特定団体が利益を上げる活動に転換する中で、営業支援センター業務が疎かになった事は否めない。26年度4月から村へ戻した。大きな課題だ。

**質問** NPO農産物加工組合は、10年余りの活動で培った農産物加工の技術が非常に高い水準にあり、平成25年の法人全体の総売上は約3千万円に。しかし、営業の専任者がおらず、商品マーケティング、販路開拓が弱く、ほとんどの製品が直営店舗での販売だ、どのようにするか。

**産業建設課長** 6次産業化プロジェクトの方針等が決まる中で、これまでの技術を引き継いで行くためには、組

織を見直す必要があると、役員と合意形成を図った。

**質問** 二つのNPOを抱える問題点を認識した上で、6次産業化プロジェクトを立ち上げた。検討の中で、村に欠けていることは農産物直売所と食事を提供する食堂、レストランがないことを課題とした。2NPOはこの直売所の中でどのように行っていくのが良いと考えるか。

**産業建設課長** プロジェクトの方針等を懇談する中で、2NPOの理事と合意形成をし、統括支配人募集要綱でも新法人に加わって業務を行っていきたいと考えている。

**質問** 私の提言を。2NPOは、村の指定管理者で施設管理を委託されているが、長野県から認証を受けた独立した法人だ。村長、産業建設課長の発言に、2NPOを解散させて新しい直売に参加とあつたが、押しつけていると感じる。現在の指定管理者の立場上、同意をしているように感じるが、本心はいかがかと考える。これまでそれぞれ思いを持って活動されてきた皆さんなので、指定契約をして独立した法人として協力関係で加わって



村の駅とよおか(仮称)統括支配人の高木信康さん(46歳)

ただ、それが望ましい。解散又は協力関係、どちらになるか。

**産業建設課長** 2NPO役員の皆さんにも募集要綱の作成に加わっていただいているし、方向性は承知されている。発展的解消で新法人での事業が良い。

**質問** 解散の方向で同意を得ていると受け止めるが、良いか。

**産業建設課長** 議論の中で解散して新法人と一緒に業務をという、きちんとした議論は記憶の中では無いが議論を重ねておこることは事実だ。

**質問** 村の駅とよおかの統括支配人応募の提案を見て感じたことがあるか。採用された方の提案で村の駅とよおかの構想、方針があるか。

**村長** 2NPOの解散の方向以外のことは白紙であり、新たに作る村の駅に統括責任者に着任いただいて、皆さんにも力をお借りし村の駅を成功させたい。

**要望** 村内の民間企業、事業者の皆様方と仕事、商売の中で競合する部分がある。協力関係を作っていく方針を持つべき、民業の圧迫が起きないように配慮が大切。新しい支配人の活躍を期待する。

# 地域活性化のための人材活用は

## 答 多彩な人材を活用していきたい

酒井浩文議員



**質問** 現在近隣市町村でも積極的に地域おこし協力隊を地域活性化の起爆剤として採用・活用し、地域によって知名度アップ等大きな成果を上げているところもある。しかし行政サイドによる採用のため、地域住民には認知度が低く、その存在や役割を知られていない現実がある。豊丘村の地域おこし協力隊の現状と、採用・活用目的、採用開始から現在までの活動状況は。

**産業建設課長** 地域おこし協力隊の制度は、総務省の事業として5年前から始まった。豊丘村も制度開始の翌年から、1期目として2名採用し、現在は2期目の3名が活動している。豊丘村では、農工商連携による6次産業化の推進活動を軸とした「だいち・かあちゃん」へのNPO支援や、観光PR活動、

村の魅力発掘や新たな観光の企画や情報発信などを担っている。

**質問** 地域活性化の観点から見た、地域おこし協力隊活用の成果は、村にどの様な効果をもたらしたか。

**産業建設課長** 都市部で生活し感じた若者の視点で、村民と一緒に活動を通じた地域の魅力の再認識・再確認、「かあちゃんの店」の商品のブラッシュアップや新商品開発等、今後進める村の駅構想に向けた方向性等の提言があった。また都市部での交流や外販等の企画運営を通じ、積極的なPR活動の取り組みや、住民が気づかない豊丘村の魅力を引き出していただいた。ふるさと納税の躍進も、地域おこし協力隊の皆さんの貢献も大きいと感じている。

**質問** 協力隊は「住民主役の地域おこし」に

協力する隊員であるが、活動の原則と現実に必要な溝がある。人材育成と任期後の自立、定住推進の観点から、現在の活用方法は適切か。

**村長** 農業振興の現場で活動をされているが、現状はまだ活性化していないため、仕事が物足りなかつたことは事実である。今後、村の駅構想が具体化する中で、総支配人はもちろん、事業実行のため必要な人材として活動できる状況を作りだしていきたい。

**産業建設課長** 豊丘村の組織の一員として活動に取り組んでいただきたい。募集の時点で、期待する活動や業務を明確に示し、受け入れていくことが大切であると考える。



売木村で大活躍中の地域おこし協力隊 重見さん

# 認知症予防の今後はどうするか

## 答 資格者(キャラバンメイト)を養成する

大原千賀子議員



**質問** 2025年には高齢者が700万人、5人に1人が高齢者の時代がくる。高齢になっても元気に人生を全うするために支えるのが、地域包括支援センターである。第6期介護保険計画の取組みについては、先の片桐議員が質問されたが、28年度の準備段階で27年度は生活支援検討会議が作られると聞いた。早速できることもあると思う。またミニデイサービスは現在月1回であるが、介護予防を充実するために、月2回位にできないか。

現在社会福祉士を募集しているが状況を伺う。

**健康福祉課長** ミニデイサービスは現在13地区であるが、開催地区の増加を優先に、その後検討する。

**副村長** 社会福祉士は数名の応募あり、明日3月13日採用試験をする(5月から正規職員として着任となる)。

**質問** 介護予防サポーター講座を受けた中で認知症予防講座は勉強になった。物忘れとは違うと言うこと、認知症の原因と症状の関係を知り、早期発見が大



認知症サポーター養成講座のテキスト

事。その後私的に勉強会をしたが、村の包括には資格のある講師(キャラバンメイト)が無く、他地区の方をお願いした。職員に資格を取って欲しい。認知症も折にふれ学習したり、子ども達、若い人達にも学習の場を作りたい。

**質問** 「ゆめあるて」の駐車場ができ、資料館の裏側が目立つようになった。新しい土器が出ていて、今資料館が面白い、縄文時代にこの地でどんな暮らしをしていたか、村のルーツ、歴史を知ることが大切と思う。大勢の方に入館してもらうにはPRが必要と思う。

**教育長** 子ども達が学習で大勢入館しているし、将来考古学者になりたいと言う子どもも

## 資料館が面白い

### 答 大勢の来館がある



資料館へ行きましょう

館報やホームページで欲しい。認知症カフェを作り、本人、家族等がいつでも集える場所が必要。ボランティアセンター内に作るのはいかがでしょうか。

**村長** キャラバンメイトについては知らなかつた、取得できるよう考える。認知症カフェも検討してみる。

ページ、ケーブルテレビでも流したが、もっと観やすい工夫もする。

**質問** 費用はかかるが資料館の入口を「ゆめあるて」の方にすると入りやすいかがかか。

**教育長** 費用面で無理なので、現段階では、表示を南側に付けることになった。

退職される筒井教育長には豊丘の教育に熱心に取り組んで頂き、ありがとうございます。

# 認知症対策はどうなっているか

## 答 早期発見が大事

前沢光昭議員



**質問** 認知症は厚生労働省の調査では65歳以上の15%という数字がある。豊丘村の認知症対策について何うが、豊丘村の実態や相談体制はどうなっているか。

**健康福祉課長** 昨年10月末で介護認定者370人中、227人で6割にあたる。相談体制はかかりつけ医あるいは専門医。介護保険は地域包括支援センターへの相談が多い。認定までは2ヶ月くらいかかる。

**質問** 認定まで待っている家族は不安と苦勞が多い。思わぬことも起きるがその間のケアも必要だ。徘徊の実態はどうか。そうなるってしまったときの搜索は、健康福祉課長 認定調査を通じて把握はしている。搜索の場合は、消防や警察となる。地域で見守るためのネットワークはまだできていない。GPSや携帯、



認知症サポーターがつけるオレンジリング

ペンダントなどの着用は考えられるが、有効な手立てはないのが現状。病気への周りの正しい理解も必要。

**質問** 認知症サポーターの普及はどのくらいになっているのか。以前質問したときは100人が目標としていたが。

**健康福祉課長** サポーター養成講座は200人受講していた。この病気は早期発見が重要。その一つが脳ドック。すべてやれとは言わないが補助制度が出来ないか。

**健康福祉課長** 認知症初期支援チームの設置が義務付けられているので、こちらを先に進めたい。

**質問** 第3子の保育料は無料であったが、有料となった。変更の理由は。

**子ども課長** 平成26年度の保育料から給食分として3歳以上児2000円、未満児は3000円とした。負担の公平性をもたせ、できるだけ多くの方の保育料を引き下げることが

## 第3子の保育料変更理由は 答 公平性をもたせるため



おもち作りに熱中する保育園児

ら。多子世帯以外への支援も大切。

**村長** 県から新たな施策が提示された。県の補填もつくので、要望 国の基準ということではないか。県内には5歳まで無料のところもある。補助でなく無料化を進められたい。

# 地域おこし協力隊の促進は

## 答 活動内容のマッチングが鍵

片桐真理子議員



**質問** 地域おこし協力隊は、都会の若者の移住を促し農作業をはじめ、さまざまな地域協力活動を行う事業で、財政支援は国の特別交付税の措置がある。この制度を活用することは、村にとって役立つものと思うが村の考えはどうか。

**村長** 農業を中心とした6次産業化や村の駅開設に向けての活動や、その他スポーツ、福祉に特化した活躍の場も良いのかと思っている。

**質問** 採用時の希望と違う活動をするようになる場合もあると思うがその対応は。

**産業建設課長** 村ではこういう事業に取り組んでほしいということでも募集をかけている。希望に近い形での活動をしていただいていると思う。

**質問** この事業は、最終的には定住という目的があるが、今までで



オープンした支援センターで仲良く

村に定住した隊員は何人か。また定住に結びつけるまでの支援についてはどうか。

**産業建設課長** 1期の2名中1名と、今期の1名が定住されている。定住に対する支援は将来の生活を考えながらであるので本当に難しい。そうした中で、26年度に国の要綱の一部

**質問** 今年の1月にオープンした子育て支援センターの利用状況、課題について何う。

**子ども課長** 1月26日から3月5日までの利用者は1日平均25人である。明るい部屋で遊べ、子育ての孤独感から開放されたという声もある。中庭にも遊具を設置しているので、声かけの輪を広げ、多くの方に遊びに来てほしいと思う。

## 子育て支援センターの利用状況は 答 1日平均25人。木のおもちゃが人気

改正で隊員の最終年度が終わった翌年に限り、起業に向けて100万円の支援が新たに加わった。村での独自の支援はないが、第3期募集の隊員にあたっては開設予定の村の駅の中で業務が継続できる仕組み作りが必要と考えている。

**質問** 隊員の相談体制

**質問** 土日の開設をしている自治体もあるが村ではどうか。

**子ども課長** 今のところは考えていない。

**質問** 27年度はソフト事業中心の子育て支援で予算編成をしたということがあるが内容は。

**村長** 一番のメインは臨床心理士の配置である。成果によっては年間を通していきたい。

### 総合振興計画の推進こそ創生へのみちでは 答 将来像に向けて、戦略会議でまとめる

松村正三議員



質問 国は少子高齢化の猛進の中で、地方創生を掲げ、施策を打とうとしている。そこで、村の27年度予算、「未来とよおか創生予算」として編成したとしているが、内容として、何をもち

そう位置づけたのか。村長 人口減少と地域経済縮小の克服。まち・ひと・しごと創生と好循環の確立。それを今まであったものでなく、即効的かつそこから生まれるプラスを説明できる施策

を、どんどん繰り返すこと。それを国は応援するということ。それらを踏まえ、スタートに立つための予算と理解願いたい。質問 人口の安定維持のためのビジョンを基軸として、総合振興計画の中身を絞り、砕き、拾い上げて肉付けをしながら、総合戦略の策定をするのではないかと想像するが。

総務課長 基本的な人口目標については、総合振興計画で掲げる6800人、これが村の将来像ということで置きかえ、それに向かつて計画を練り上げていく。

今後の施策展開は、来年度立ち上げる村の総合戦略会議で、ビジョンを作り、行政がどんな手を打つべきか、民間の力をどう活かすべきかなど検討し、まとめ上げていく。



バランスある人口増を願って（八王子2の住宅）



6次化はとよおか創生の大きな担い手

### 豊丘村は将来消滅すると考えているのか 答 考えていない。人口は予測より減らない

唐澤啓六議員



質問 この程、共同通信社と信濃毎日新聞社が実施した全国市町村長アンケートで、村長は豊丘村が将来消滅するとの危機感を抱いていると回答している。このアンケートは、昨年8月地方創生会議座長の増田寛也元総務大臣著の「地方消滅」という書籍の中で、全国876の市町村が将来消滅する可能性があるとの、シヨッキングな指摘をうけて行われたものである。豊丘村もその一つとされている。①豊丘村が消滅するとの危機感を抱く根拠は、②豊丘村はもちろん、自治体が消滅することはありませんかと考えるが、この「地方消滅」論に対する村長の見解は。③真の地域振興、持続可能な地域を創造していく基本的戦略についての見解を問う。



消えてたまるか、住みよい村を

村長 地方創生総合戦略で地方にてこ入れが始まり、リニア新幹線と三遠南信道の開通を考えると雇用の創出、子育てのできる状況が作り出され、伊那谷ではそんなことにはならないと思っている。お付き合いで消滅す

る危機感を抱いていると回答したが、人口は増えるというのが本音である。②増田レポートは、何の施策もせずに放っておけば、都市部への流出が止まらず地方の人口減少が続くということである。

施策をくり返し行い、人口減少をさせないことが我々の仕事だと思っている。③リニア建設による経済効果や、開通後は伊那谷の自然、ふるさとを呼びこむこと、又伊那谷の航空宇宙産業等のレベルの高い産業の振興が大切と考える。

質問 要介護の認定を受けている高齢者は、障害者手帳を持っていない。市町村長が発行する認定書があれば税申告の際、障害者控除を受けられる。しかし、認定書の発行基準は市町村によって大きく異なっている。豊丘村では要介護3以上の重度者に限定しているが、埼玉県霞市では要支援の一部にも発行している。近隣町村の発行状況はどうか、本村の発行基準を改善する必要があると考えるが。健康福祉課長 本村では先ず要介護3以上の認定者について障害者控除の対象者認定フローチャートによって判断している。調査項目は、障害高齢者の日常生活自立度と認知症高齢者の日常生活自立度のレベルである。近隣では、要介護度は問わず他の基準で発行している町村もある。本村の判断は厳しさと考える。来年の申告にむけての対応について検討していきたい。村長 指摘をされ、初めてこの問題を認識した。前向きに検討していきたい。

### 6次産業化は、創生に向けて最重要

質問 村の創生にかかせないのは、6次産業化事業ではないか。24年度のようなプロジェクトでの活動の再構築。また、中山間総合整備事業の採択を受けるための努力をし、人・農地プランの具現化に向けて、強い決意で挑みたい。

産業建設課長 プロジェクト活動の再構築はまさしく「村の駅」成功に向けて必要なこと。また、中山間総合整備事業の採択を受けるための努力をし、人・農地プランの具現化に向けて、強い決意で挑みたい。

# 地域総合戦略のビジョンの考えは

## 答 大きくは3つの支援に重みをおく

井原康明議員



**質問** 先般、日本政府から人口減少の克服施策として、地方創生の5か年計画が打ち出された。これによりまち、ひと、しごと創生の総合戦略として、地方の実情に応じた地方版戦略を16年3月までに策定するよう、努力義務を課したが豊丘型総合戦略ビジョンの考えは、

**村長** 先般の報道機関によるアンケート調査にも当村としては、3つの施策に重みをおいて回答した。Uターン・Iターン・Jターンの推進と支援、企業誘致と新産業創出、保育所整備などの子育て支援に重みをおいた施策の展開を考えている。

**住宅問題**を含め、27年度の補正予算にそれぞれ拡充していく。

**質問** 効果があると思われる施策のアンケート調査で、4番目に妊娠、出産子育て支援の切れ目のない支援が入っ

ているが、第一段階の妊娠・出産、子育て支援施策が重要ではないか。

**村長** 現在の施策もそのようなつもりで取り組んでいる。また結婚相談なども力をいれ、住宅取得にも補助金を手厚くしていく展開を行っている。

**質問** 今後の工場誘致などの取り組みはどのようか。

**村長** 横浜ゴムについては、第一工場が完成し、現在第二工場の計画が進められており、大きな雇用の場が期待できる。

**要望** 人口増の考えとして、出産（出生率）を上げる施策も必要であり、各支援の拡充をお願いしたい。定住促進には、奇抜なアイデア（施策）も必要で、無視しない施策を望む。

**質問** 新しい図書館も完成して、日増しに利用者が多くなっていると思うが、最近の利用状況はどの様か。

**教育長** 昨年比1.5倍の増加であり、貸出者数も比例して多くなっている。ネットワーク化も始まり、総合貸借が活発に行われている。

**質問** 図書館裏のリサイクルステーション開設は各日曜日に開設されており、図書館利用の方もこの付近を通行することが多い。2月のリサイクルステーション開設時に、図書館の大屋根から落雪（氷状のもの）があった。幸いけが人は発生しなかつたが、今後の落雪防止の対策をどの様に考えるか。

**教育長** 危険な部分は一部承知しているので、



落雪防止の追加処置が望まれる図書館屋根

# 設置を目指す大学院大学とは

## 答 特定の専門学部のみ大学院

松下 亨議員



旧飯田工業高校に予定されている大学院大学

**質問** 広域連合が、次期基本計画で設置を目指している大学院大学とはどういう大学か。

**また、設置場所・定員・修学年数はどうか。**

**村長** 大学院大学とは、既設の4年生大学の中にある大学院ではなくて、ある分野に特化した専門学部のみを設けた大学院と考える。

設置場所は旧飯田工業高校の跡地で、定員とか修学年数などはまだ白紙だと思う。なお、地場産業センター内にある航空宇宙産業なども旧飯田工業高校内に移り、その後に運転免許センターが入る構想が浮上している。

**質問** 広域連合が取組んでいるこれら事業につ

いては、議会や村民は情報が十分のため分りにくい。改善策はないか。

**村長** 広域連合の会議資料は、毎回もらっているのでも議会内へ閲覧

## 一般質問した件その後の対応は 答 忘れていた件もある

**質問** 過去に一般質問した件の中で、「提案通りやりたい」と答弁があった次の件は、現在どのようになっているか。

① 高校生との集いについてはこちらから声をかけてぜひやりたい。② 廃屋など危険住宅等について持ち主に對する行動は至急やりたい。③ 話し合い形式の集いは新施設ができたらやりたい。

**村長** ① 忘れていた。リップサービスと諦めてほしい。③ 国の法律ができ、5月にはガイドラインがあるので、その内容をみてやりた



高校生の通学風景（市田駅）

という形で見てもらう方法をとりたい。

**質問** 月1回は全員協議会を開催しているのでも、その時に要点を簡潔に報告願えればよい。

**教委事務局長** まだ具體的に動き出してはいない。

## 発言の取消とお詫び発言

3月19日の最終日の本会議の冒頭で、村長から「忘れていた」「リップサービス」発言は、取消すことと、議員・議会・村民に対するお詫びの発言があり、議会として認める。

# 委 員 会

## 社会文教委員会

### 14・4%の大巾引き上げ 27年度からの介護保険料

第6期介護保険事業計画に基づき、保険料率を改正するものであり、現11段階を10段階にし、第5段階を基準に14.4%増となる。審査の中で、大幅な増となった理由は、第6期以降の介護人数を見込み、国のワークシートを基にしたこと、特養の新設により、人口規模の割合には施設利用者が多いと担当からの説明があり、討論の中

### 児童クラブに関わる二つの 条件を新たに制定

ひとつは、現行の事業実施要綱や徴収条例によっていたものを、河野児童クラブを新しくしたことにより、1本化するもので、開所

で県下でも2番目の大幅な引き上げであり村の財政から見ても一般会計からの繰入をして6%に止めることも可能と思うとの反対意見もありました。介護保険料を抑制するには、住民の健康への意識を高め、長期的に見る必要がある等の意見から、賛成5反対1で委員会可決としました。

日、時間、利用料、一時預かり等必要な事項を定め、児童の健全な育成を目的とするものです。質疑では児童クラブを指定管理にするか



快適な河野児童クラブ

との質問が出されましたが、運営上、業務委託の方が適当と考えるので指定管理にはしないとの答弁がありました。ふたつめは、放課後児童健全育成事業の設備及び運営基準を定める条例で児童数、専用面積を国の基準に合わせるとするもので、神稲児童クラブにおいて

は、専用面積が不足しているため、今後改善の必要がある等の意見の必要がある等の意見の必要がある等の意見

### 「手話言語法制定」を 求める請願を採択

国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話を言語として普及、研究することのできる環境を目的とした、「手話言語法(仮称)」を制定されたいとするものです。手話通訳の村の登録者は2名、地域支援事業として取組みがされており、病院等に行ってもらえる指定登録者も飯田で10名おり、更に環境整備は重要であると、全員一致で委員会可決とし、国に意見書を提出することとしました。

編集委員 大原千賀子

# だ よ り

## 総務産建委員会

### 村営バス無料化は困難 公共交通の研究・検討を要望し、趣旨採択

村営バスの料金に関する請願審議2件  
・請願1号「村営バス無料化を求める請願書」  
・請願2号「村営バス

見直しを求める請願書」2件とも委員会では全会一致で趣旨採択となりました。



村営バスの運転手さん

本会議で当委員会に付託され、ともに村営バスに関する事案であったので一括審査・検討を行いました。

請願1号の趣旨は、高校生の保護者からのものであり、小中学校時は無料であったが高校生は有料であり経済的負担増がある、高校生無料化の検討をお願いしたい。

請願2号の趣旨は、豊丘村高齢者クラブ連合会長からのものであり、店舗が遠くなり買い物等外出には車が必要であるが、高齢者の交通事故や認知症などが社会問題となるなか、運転の抑止や運転免許証返納などを求められることが予想されます。今後は車に頼らない村営バスの運行の新たな

施策を請願するというものです。現在の運行は有償運行を原則として国庫補助を受けているため、無料化は困難と判断し公共交通のあり方など研究・検討されるよう、村理事者に要請し趣旨採択としました。

### 集団的自衛権反対の請願 全会一致で採択

集団的自衛権関連法案  
反対の請願  
委員会では採択

「集団的自衛権容認の閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願」は採択に同意す

る意見が多数であった。一方、「本国が攻撃された時、何が私たちを守ってくれるのか、憲法9条では平和を守れないのでは」と、単に反対するだけでなく慎重に法整備を進めるよう求める意見がありました。編集委員 吉川明博

用語解説  
付託とは  
物事の処置などを任せること。特に、議会で、議案の審査を本会議の議決に先だつて他の機関に委ねること。

# 退任のごあいさつ

## 議長 下平 豊久



私ども村会議員は、平成27年4月29日をもって任期満了退任となります。

民主党政権から安倍連立政権へと転換した政治的変動も大きな今任期でありました。

東日本大震災の直後にスタートした今任期は、南木曾町の土石流・木曾の御嶽噴火・県北部の神城断層地震で終わるといふ自然災害の多発した4年間でありました。

一方、社会文化施設ゆめあるでの竣工、戸建賃貸住宅建設、佐原線改修事業の推進と大企業の村内進出等活気ある4年間でした。

とりわけ、リニア中央新幹線のルートと飯田駅の設置位置の発表は南信州地域の将来に大きなインパクトを与えました。

議会では、リニア特別委員会を設置し現地調査や情報収集と意見を発信してきました。また、水文調査等の事前の調

査・資料収集に着手するなど活動を強化してまいりました。

議会改革では、対面式による

一般質問の導入・議会報告会の実施・議会基本条例の制定・委員会条例や会議規則等の改訂に努め、村民に開かれた議会とするための改革を実施致しました。最終議会では豊丘村議会活性化に関する決議を採択致しました。

新しく選出される議員が更なる議会改革と活性化に取組まれることを期待いたします。

この任期中大過なく任期を遂行出来ましたのも、村民の皆様方及び議員各位よりお寄せ戴きましたご支援ご協力の賜物と心から感謝と御礼を申し上げます。

# リニア特別委員会

## リニア対策委員会が設置される

・・・リニア特別委員会の活動報告・・・

リニア特別委員長 酒井 浩文

### 地区別事業説明会、全て終わる

平成27年最初の委員会を1月27日に行いました。当日は、2月に村が要望し実施されることになった2会場（柏原果樹団地組合・伴野原大柏地区）の事業説明会の開催についてリニア対策室から説明を受けました。また委員会からの要望でもあった、住民参加の「豊丘村リニア対策委員会」の設置が具体化され、実施時期、設置の目的・協議内容・委員構成・委員任期等の事務局案に対して議論しました。この中でリニア対策委員会は、リニア工事に対して生じる様々な問題や課題に対して、情報を共有

し、対策を検討・協議していくことを目的に、村内各種団体からの選出による35名で構成することを確認しました。質疑の中で、運営に当たっては各区単位でも

設置されたリニア対策委員会と連携をとること。工事終了まで継続する長い委員会となるため、委員の引き継ぎを明確に、継続的な委員会とすることが重要であることなどが要望されました。

### 地域性の強い質問・意見多数

2月25日に行った委員会では、リニア対策委員会設置要綱についての説明と、確認、意見交換を行いました。また委員の顔ぶれも示され、議会代表として吉川・酒井の2名が参画することになり、議会のリニア特別委員会との関係やありかたについて議論しました。

リニア特別委員会は、役場リニア対策室及びリニア対策委員会と連携し、主に住民意見の聴取や情報収集・情報発信、各組織の調整役として引き続き活動することを確認しました。また12月に行われた地区別事業説明会での様子についての報告を受け、各地区ごとの様々

な課題や不安事項など、今後の対応等について議論しました。今回のJR東海による地区別説明会の主な目的は、今年から始まる基準点測量の依頼と確認であり、先に示された工事スケジュール最初の事業がスタートします。

### 中電による、工食用配電線工事の計画が示される

3月16日に行った委員会では、2月に行われた地区別説明会2会場の様子と、出された質問・意見等の概要報告、同じく26日に開催された、第1回リニア対策委員会の様子と、意見交換の中で出された質問等の内容の報告及びその共有・議論等を行いました。またリニア工事に向けた、工

め事前に行う、中電の配電線工事の概要の説明を受けました。この件については各自治会長を対象に、林・伴野・福島・壬生沢の4地区で説明会を行うことを確認しました。JR東海による中心線測量のための基準点設置についての報告を受け、村内7か所に設置される基準点の概要の説明を受けました。



長期戦となるリニア対策委員会

## 全国議長会長表彰 3 議員受賞

下平豊久議長 唐澤啓六副議長 片桐秀人議員

### 永年在職議員表彰

第66回全国町村議会議長会の定期総会において表彰された議員に対し、3月2日の本会議開会前に表彰状の伝達式を行いました。

○7年以上議長在職議員表彰

下平 豊久 議員

○27年以上在職議員表彰(通算)

唐澤 啓六 議員

○15年以上在職議員表彰

下平 豊久 議員

片桐 秀人 議員





**片桐秀人**

できなくて残念だった「通年議会」、「立案能力」の育つ議会運営こそ「議会改革」。



**片桐真理子**

自分のできることを一生懸命取り組みました。関わったすべての皆様に心より感謝致します。



**大原千賀子**

一期だけでしたが、良い経験と勉強になりました。村の発展を祈ります。ありがとうございました。



**松下 亨**

住民が主役の立場で住民参加を求めて、精一杯やりました。



**酒井浩文**

起→議会？議員とは？  
承→先を見て行動！  
転→発想の転換！  
結→村の幸福のために。



**吉川明博**

勉強、調査研究、検討討論の日々は充実していました。ご支援ありがとうございました。



**井原康明**

何事も、住民の方の立場で取り組んできました。駆け足の4年間でしたがご支援有難う御座いました。

# 4年間 お世話に なりました



**前沢光昭**

必要と信じて取り組んだ事はしつこく追求してきました。



**原 健治**

原子力発電の優位と恐怖の証明を直視した時、議員として意志決断の重要性を痛感する。



**松村正三**

経験の積み重ねがあつてこそ、動ける議員、働ける議員として成長させていただきました。



**下平豊久**

リニア新幹線ルートと駅位置でのJR東海との直接交渉を思い出す。議員各位に心より感謝。



**唐澤啓六**

すべてのことに全力でがんばってきました。4年間、お世話になりました。



**片桐義憲**

リニア工事の代償、憲法や核の世論の差に相剋葛藤。皆様の御支援に感謝申し上げます。



**川野孝子**

地域ミニデイが始まり介護予防の取り組みができました、住民の声を行政にと努めてきました。

# みんなのページ

## シリーズ

### 私がんばっています



大澤ヒサ子さん  
(小園)

**フラダンスを始めて何年になりますか、始められた理由は？**

60歳を前に定年後の人生何か趣味に打ち込めることはないかと考えた時、若い頃からの憧れであったダンス、ふと見た広告がフラダンスでした。当時駒ヶ根市にフラダンスの教室があり、毎週仕事が終わると駒ヶ根市まで通い習いました。そして仲間とデイサービスにボランティアとしてフラダンスを踊りに行き、お年寄りの方々が喜んで下さることに自分自身も喜びを感じました。また、趣味として始めたフラダンスで人の役に立つことのできることに生き甲斐を感じました。そうした私と一緒にフラダンス楽しもうという人たちが集まって公民館活動として始めました。

**生徒さんは何グループで何人くらいいらっしゃるのでしょうか。**

豊丘村に4グループで39人、老人大学卒業後の方々で13人、喬木村公民館で月に2回教えていますので10人、7グループで62人ほどですね。こんなに増えてしまったのには理由があります、練習を始めたころの方々が経験を積んで踊りが上手になった頃に、新人が加わりますと、経験者との差が出て双方ともにやりにくくなりますので、加わっ

各種催し物で出演され艶やかにフラダンスを踊っていらっしゃる、伴野区小園にお住いの大澤ヒサ子さんにお話をお聞きしました。

「花は咲く」という曲の創作フラダンスの振り付けを1年かけて創ったことです。

**忘れられない思い出は？**

村のイベントの「とよあかまつり」「公民館まつり」やデイサービスでの発表と、ご縁があつてマヒナスターズのバックで地元の仲間と踊ったことです。

**今後についてどのようにお考えでしょう？**

今は福祉関係の団体に勤めています、来年退職になりますので自分自身の健康のために積極的に地域のイベントに参加してフラダンスを踊っていきたいと思っています。

**フラダンスの外に楽しいことはありますか？**

友達と旅行に行くとか近場の温泉に行ったり、孫に会いに行くことです、成長していく孫の姿を楽しみにしながら、少しでも長く応援して行きたいと思っています。

益々の活躍をご期待します。

インタビュアー 吉川明博

## 編集後記

●安倍内閣は、安保法制を改定して自衛隊を地球の裏側までも送るといふ。世界に誇る平和憲法を歪曲して。当議会は異議を唱えているが政権は聞く耳持たず。国民の過半数の民意は何処に●1期4年の任期を控え、今まさに改選期を迎えている。当議会は定員14人と同規模町村では恵まれている。この体制を十分に生かし、住民の声を村政に反映する村づくりを一層進める必要がある●議会だよりは、11人のモニターさんを委嘱し、毎回、手厳しい批評を頂戴する。お陰で県の研修会では良い評価。次期も多くの村民の皆さんに愛読される紙面作りを期待します  
(松下亨)

### 発行責任者

議長 長 下平 豊久

### 編集委員会

委員長 松下 亨  
副委員長 酒井 浩文  
委員 大原千賀子  
委員 吉川 明博  
委員 唐澤 啓六